

## ▶ タイの先端技術の教育施設に「シャトルラックM」を寄贈

当社グループのタイ現地法人・Daifuku(Thailand) Ltd. がこのほど、プラパ大学敷地内に開設された「Automation Park」(チョンブリ県)に、高能カケース荷揃えシステム「シャトルラックM」を寄贈し、eコマース向けに自動化した最先端物流施設をイメージした仮想環境を構築しました。

Automation Parkは、ロジスティクス分野の先端技術を学ぶ教育の場や、企業に積極的な自動化投資を促すためのショールームの役割を持ち、産業発展に向けた新たな成長エンジンとして位置付けられています。

タイ政府は、重点産業の一つに掲げるロジスティクス分野においてチョンブリ県を経済特区に指定しており、施設はタイのEEC(東部経済回廊)事務局によって運営

されています。

1月19日には、施設のオープニングセレモニーが開催され、当社グループ社員がタイ王室のシリントーン王女にシャトルラックの説明を行いました。



Automation Parkに寄贈した「シャトルラックM」。



シリントーン王女と記念撮影。(後列右から1人目、2人目が当社グループ社員)



シリントーン王女に説明を行う当社グループ社員。

## ▶ 当社社長が経営セミナーで講演

3月9日、公益社団法人大阪府工業協会主催の経営セミナーで、当社代表取締役社長・下代博が講演を行いました。

講演では、社会インフラを支える当社の存在意義や、環境・人権配慮などの視点も取り入れた経営理念に加え、持続可能な社会の実現に向けた事業経営について説明しました。



当社社長による講演。

## ▶ 「2022国際ロボット展」に出展

当社は3月9日～12日、東京ビッグサイトで開催された「2022国際ロボット展」に出展しました。

ブースでは、「急速に進化した、ダイフクのワイヤレス充電」をテーマに、ワイヤレス充電システム「D-PAD」(30Aタイプ)の実機デモラインを設置したほか、物流センターや工場で導入が進むモバイルマニピュレータに適した100Aタイプの模型を展示しました。



国際ロボット展の当社ブース。

## ▶ 当社企業広告が日経産業新聞広告賞「優秀賞」を受賞

当社の半導体・液晶生産ライン向けシステムに関する企業広告が、第48回日経産業新聞広告賞において「優秀賞」を受賞しました。

同広告は2021年6月25日に日本経済新聞、日経産業新聞、日経MJに掲載されたもので、独創性や新規性、広告展開のタイミングなどを基準に審査対象1,106作品の中から選定されました。

審査委員：早稲田大学常任理事・恩蔵直人氏による講評「直面している世界的な半導体不

足に対して、自社のソリューションを分かりやすく訴求しており、BtoB企業の広告らしさを感じる作品」



当社企業広告

## ▶ CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」で最高評価に初選定

当社はこのほど、CDP<sup>※1</sup>による「サプライヤー・エンゲージメント評価」<sup>※2</sup>において、最高評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」に初めて選定されました。

これは、サステナビリティ経営の指針として当社が行うべき具体的な取り組みである「サステナビリティアクションプラン」のテーマの一つ「事業を通じた環境貢献」の中で、当社のサプライチェーンを含むCO<sub>2</sub>排出量削減の取り組みが評価されたものです。今回の評価対象企業のうち、上位8%に位置します。(グローバルでは約500社、日本企業は105社が選定)

※1: ロンドンに本部を置き、気候変動や水、森林資源などの環境分野に取り組む国際的な非政府組織

※2: サプライチェーン全体での気候変動に対する取り組みを評価するもので、4つの重要項目(ガバナンス、目標、スコープ3管理、サプライヤーとの協働)とCDP気候変動質問書のスコアを使用して、回答企業を評価しています。



## ▶ 中国現地法人の工場内にショールームを開設

当社グループの中国現地法人・大福(中国)物流設備有限公司は2月11日、中国におけるブランド力の強化に向けて松江工場内(上海市)にショールームを開設しました。約120㎡のショールームでは、会社紹介や歴史、経営方針、事業領域、納入事例などのコーナーを設けており、パネルや映像でそれぞれの内容を紹介しています。

ショールームは、主にお客さま、政府関係者、教育機関などの来訪者に公開し、事業内容や事業を通じた社会貢献について訴求していきます。



中国現地法人の工場内に開設したショールーム。